

# 事務事業評価シート

評価年度	令和元年度	対象事業年度	平成30年度
------	-------	--------	--------

所属・担当者氏名	市民部 市民協働推進課 市民協働推進係 石井宏明	評価責任者 (担当課長)	市民協働推進課長 芳賀和恵
----------	--------------------------	--------------	---------------

## 1. 事務事業の種類

① 事務事業の名称	市マスコットキャラクターみくちゃんの活動		② 整理番号	03010503-001
③ 第4次総合計画の施策の体系	章	元気にぎわいのまちづくり		
	節	特性を生かした地域づくり		
	項	地域産業・資源を生かした観光・交流の推進		
	号	PR活動の充実・強化		
④ 関連する個別計画	なし		⑥ 事務の種類	自治事務
⑤ 根拠法令・条例等	大和高田市マスコットキャラクター使用取扱要綱			

## 2. 事務事業の概要

① 目的 (何のために)	大和高田市のマスコットキャラクターである「みくちゃん」を通じて市の魅力を発信することで、市のPRを行い、シティセールス(市の魅力や個性を都市外に売り込むこと)を図る。
② 対象 (誰・何を対象として)	全ての人
③ 手段 (どのようなやり方で)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市外・県外のイベントに参加(年間9回)</li> <li>・ホームページを活用した情報発信</li> <li>・マスコミを活用した情報発信</li> <li>・グッズ作成及び販売</li> <li>・イベント開催</li> </ul>
④ 成果 (どのような効果を得ようとしているのか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページのアクセス件数を伸ばし、情報発信の拡大を図る。</li> <li>・PR活動により、市や「みくちゃん」の知名度の向上を図る。</li> <li>・グッズの売上を伸ばし、PRの拡大を図る。</li> <li>・イベントを開催し、誘客を図る。</li> </ul>

## 3. 投入された年間総事業費及び人件費の推移

※概算人件費は「人件費計算シート」による

(単位：千円、人)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
① 直接事業費	9,322	12,199	12,697	5,626	(予算) 7,878
② 概算人件費	(0.04) 7,505	(0.04) 9,100	(1.80) 7,351	(1.37) 4,272	
(関与比率) 一般職員	(0.03) 6,525	(0.03) 6,754	(0.80) 5,671	(0.37) 2,592	
(関与比率) 嘱託職員	(0.01) 980	(0.01) 2,346			
(関与比率) 臨時職員			(1.00) 1,680	(1.00) 1,680	
③ 合計(①+②)	16,827	21,299	20,048	9,898	
④ 特定財源 (国・県支出金、市債など)					(当初予算)
⑤ 一般財源(③-④)	16,827	21,299	20,048	9,898	

#### 4. 評価指標

種類	指標名	指標の算出方法等	実績値			
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	① イベント出動回数(市外・ 県外)	年間出動回数	48回	48回	30回	9回
	② ホームページ更新回数	年間更新回数	107回	111回	80回	52回
成果指標	① イベント来場者数	来場者数	15,000人	49,000人	52,000人	12,800人
	② グッズ売払収入	年間売上金額	96,765円	1,202,238円	1,243,390円	495,093円
効率指標	① イベント来場者1人当たり のコスト	事業費/来場者数	1,122円	435円	386円	773円
	②					

#### 5. 項目別評価

評価の視点	3段階評価	評価の根拠
①妥当性 (目的及び市の関与は妥当ですか)	A	市のマスコットキャラクターである「みくちゃん」をツールとし、市の魅力や個性を都市外に発信していく活動であり、市が主体となって実施することは、妥当である。
②有効性 (成果は向上していますか、向上していない場合向上のために改善の余地はありますか)	B	平成30年度から、市外・県外のイベントは、近畿圏内のものを基本に出演し、本市のPRを行ってきた。その理由としては、本市のイベントに参加してもらいやすい他市町村等との交流を深めるためである。本市のイベント来場者数は、平成29年度に比べ減少しているが、この新しい試みの成果について、検討・改善を行う必要がある。
③効率性 (コスト・受益者負担は適切ですか、不適切な場合改善の余地はありますか)	B	市外・県外のイベント参加について、近畿圏内を基本としたことにより、直接事業費の削減はできた。今後、コストの削減を維持したまま成果を向上させるため、有効性の改善の検討と合わせて、事業実施方法について検討していく必要がある。

#### 6. 今後の方向性 A 現状のまま継続、B 見直し(重点化、縮小、統合など)のうえ継続、C 休止、D 完了・廃止

判定	具体的な改善・見直しの内容(「B 見直しのうえ継続」の場合に限る。)
B	<input type="checkbox"/> 人件費の重点化 <input type="checkbox"/> 予算の重点化 <input type="checkbox"/> 事業の縮小 <input type="checkbox"/> 事業の統合 <input checked="" type="checkbox"/> 実施内容の変更 <input type="checkbox"/> その他
	平成30年度に行った新たな事業実施方法を踏まえて、今後の市マスコットキャラクターみくちゃんの活動のあり方について、検討していく。

#### 7. 2次評価 A 現状のまま継続、B 見直し(重点化、縮小、統合など)のうえ継続、C 休止、D 完了・廃止

判定	具体的な改善内容・改善計画(「B 見直しのうえ継続」の場合に限る。)